2022.2.15

緊急災害支援基金（案）

目的

　昨今の甚大化する自然災害、また、我々の身近でいつ起きてもおかしくない大地震、当クラブも災害が起き緊急の支援が必要となった時に備え、真っ先に対応が取れるように心構えと、ある程度の資金を準備しておく必要があります。

「支援金」とは、被災者の方に直接送られる「義援金」とは違い、被災地でさまざまな支援活動を行う団体が被災者を助けるために活用されるものです。当クラブもご縁のある方を通じてとか、当クラブなりにお役に立てる支援があった場合、奉仕の精神で迅速な行動をとれるよう「茅ヶ崎中央ロータリークラブ 緊急災害支援基金」を創設いたします。

運用

　災害が発生し、当クラブとして行うべき支援があるとの提案があった場合、当該年度会長を中心に、理事会にて支援の可否、規模、方法などを話し合い、なるべく速やかに行うものとする。

　あまねく配る義援金や、広く求められる地区からの要請などには基本的には使用せず、当クラブならではの支援に使われることとするが、ある程度、柔軟性をもってその時の理事会にて判断する。

　お金だけを出す支援もケースによっては可だが、クラブメンバーがなるべくかかわる事が望ましい。

資金

　この基金は最初、新型コロナウイルスの影響で予算をあまり履行できず残金が増加した一般会計より１００万円を充て発足する。

　使用する支援が発生し基金が減った場合、会員から寄付を募る（会員外も可）などして、元の金額に復するよう補填する。

報告

　この基金を使用し支援を行った場合、会員にその活動内容と、資金の使途を周知すると共　　に、広報活動も合わせて行う事。